

学 校 だ よ り

平成 30年 2月 1日



2月号

NO. 347

横浜市立茅ヶ崎小学校
校長 宮崎 美代子

こころ かた
心 の もち 方

副校長 山内 容子

ピョンチャンオリンピックの開幕が近づいてきました。選手の皆さんは、本番直前の今、最後の調整を行ったり、体調を整えたり、プレッシャーと闘ったりしながら過ごしていることでしょう。選手が重ねてきた苦しい練習や努力に思いを重ね合わせながら、本番当日、心から応援したいと思います。

そして、ピョンチャンから東京へ…。2020年の東京オリンピックに向けて、国をあげて様々な取組が計画されています。先日、オリンピックマスコットを決める投票が各クラスで行われ、本校でもそれぞれの学級で、話し合い、意見をまとめ、3つの候補の中から1つを選び投票しました。オリンピックマスコットとして、最終的に、どのマスコットが選ばれるのか楽しみです。

「自分は、“負けず嫌い”ではなく“勝ち好き”なんです」

これは、リオデジャネイロオリンピックや体操世界選手権で金メダルを獲得した白井健三選手の言葉です。“勝ち好き”という前向きな表現。白井選手は「満足できる内容なら負けてもいい。負けから教わることがある。負けが悪いものとは思わない」とも言っています。失敗から何を学ぶか、どう成長につなげるか。こういう気持ちをもっている白井選手だからこそどんどん伸びていっているのだと思います。また、緊張する試合前には「毎日、練習しているのだからできて当たり前」「試合というのは、普段出せない力を最大限発揮する場」と考えているそうです。緊張する場面では、「普段通りにやればいい」と考えるよりも、「最大の能力が発揮される場」と考え方を高め、パワーを発揮できるよう自分を導いているのです。

生きていく中で、つらいこと、緊張すること、失敗することはたくさんあります。そんな時に、白井選手のような心のもち方で、プレッシャーに負けず、心折れることなく前に進んでいけたら素晴らしいです。

学校教育においても、様々な体験を重ねながら自己肯定感を高め、どんな時でももっている力を最大限発揮できる心を育てていきたいと思っています。